

委員会報告

ACECC TC21の取組み 分野・部門横断的アプローチによる 災害に強い社会づくりに向けて

ACECC TC21国内支援委員会 幹事
勝濱 良博 (日本工営(株) 中央研究所国際研究企画センター)



写真1 ハワイにおけるTC21キックオフ(前方左: 竹内共同議長、前方右: Momo共同議長、後方中央: 田代JSCE会長(当時)、後方右: 堀越ACECC事務総長)

アジア土木学協会連合協議会 ACECC の21番目の技術委員会である TC21は、2016年8月のキックオフ以降、分野・部門横断的アプローチによる災害に強い社会づくりを目指して、政策決定者との意見交換、調査・分析や講演会を実施するなど

意欲的に活動している。この活動内容を周知するとともに、土木学会会員の TC21活動への参加を促すために本委員会報告を記す。

なお、日本の土木学会内に設立された「ACECC TC21国内支援委員会」(竹内邦良委員長)は、TC21活動の企画、各国の TC21メンバーとの調整、わが国の事例の収集・分析・発信などを通じて、TC21活動推進の主導的役割を果たしている。

アジア・太平洋地区の 減災・防災の推進

アジア土木学協会連合協議会(ACECC: The Asian Civil Engineering Coordinating Council)は1999年に設立されたアジア・太平洋地区の土木に関する学協

会の連合協議会であり、13の国と地域(米、国、台湾、豪州、インドネシア、インド、バングラデシュ、パキスタン、日本、韓国、モンゴル、ネパール、フィリピン、ベトナム)の組織が参加、日本の土木学会に事務局がおかれている。減災・防災はアジア・太平洋地区の共通課題であり、日本の土木学会はこの分野における ACECC 活動についても主導的立場を務めてきた。

ACECC 活動の中心は、技術委員会(TC: Technical Committee)活動であり、学術団体の連合協議会として、各国政府や国際機関に対して科学的見地から政策提言を行うことを目的に活動している。この ACECC における減災・防災に関連する活動の一層の活性化のために、日本の土木学会は21番目の TC として「分野・部門横断的アプローチによる災害に強い社会作り」委員会(TC21: Transdisciplinary Approach (TDA) for Building Societal Resilience to Disasters) (共同議長: 竹内邦良(Romeo S. Momo))の設立を提案、これが ACECC 理事会で承認され、2016年8月にハワイにおいて TC21 のキックオフミーティング(写真1)を開催した。

分野・部門横断的アプローチ (TDA)

現代社会では、防災に関する科学技術の進歩にもかかわらず、世界各国で災害被害が増加している。被害増加の原因は、人口増加や経済成長に伴う資産の増加、気候変動の影響による洪水や干ばつの増加、災害に脆弱な地域における開発の進展、特に途上国においては防災に対する投資の優先順位が低くなっていることなど複合的なものである。一方では、防災対策と避難勧告などを行う行政機関や、災害に対する備えや避難を行う一般市民に、意思決定の根拠となる科学的知見が十分かつ正確に伝わっていないこと、また、異なる分野や部門間の意思疎通や知識の共有が不十分であることが、災害被害をさらに大きくしている要因の一つと考えられ、これらの解決が各国共通の課題になっている。ここでいう科学的知見には、自然科学だけではなく、人文科学、社会科学を含む。この現状認識のもと、TC21は分野・部門横断的アプローチ(TDA)により、科学的知見に基づく意思決定がなされる仕組みを提言して、災害に強い社会づくりに貢献することを目的として活動している。

TDA 推進のための 政策提言に向けた活動

表1にこれまでの TC21 の主な活動および今後の活動予定を示す。

表1 TC21の主な活動および今後の活動予定

■TC21のこれまでの主な活動

開催年月	活動名称	開催場所	内容
2016/8	キックオフミーティング	ハワイ	ハワイにおけるCECAR7開催機会を利用して、TC21の活動を正式に開始、TC21の活動内容を確認。
2016/9	TC21テクニカルセッション	ハワイ	CECAR7のテクニカルセッションとして、TC21活動、フィリピン、韓国、台湾、日本などの事例を紹介するとともに、パネルディスカッションを開催。
2016/11	現地調査	レイテ島(フィリピン)	台風被害を受けたオルモック、高潮被害を受けたタクロバン、パロ市を調査するとともに、政策策定者らと意見交換。
2016/11	第1回 TC21国際シンポジウム	ダバオ(フィリピン)	フィリピン土木学会年次大会の行事として実施。パキスタン、ネパール、インドネシア、日本、フィリピンの事例を紹介するとともに、パネルディスカッションを実施。
2017/2	国際自然災害シンポジウム	ハノイ(ベトナム)	TC21、ハノイ交通大、ベトナム土木工学協会連盟などの共催。筆者がTC21活動を紹介。
2017/4	現地調査	チョウタラ、バクタプル他(ネパール)	カトマンズでのACECC理事会開催に合わせて実施。2015年地震被災地を調査、行政、NPO、大学関係者や、被災住民と意見交換。
2017/4	第2回 TC21国際シンポジウム	カトマンズ(ネパール)	ACECC理事会開催に合わせて実施、ネパール、パキスタン、日本、ベトナム、インドネシア、フィリピン、台湾の事例を紹介するとともに、パネルディスカッションを実施。
2017/5	世界で活躍する土木技術者シリーズ第9回シンポジウム	東京	土木学会国際センタープロジェクトグループとACECC TC21国内支援委員会が主催、『水害から市民を守る「オルモック市洪水対策プロジェクト」』と題して議論。
2017/7	国際減災トレーニングワークショップ	新北市(台湾)	台湾国立減災科学技術センターとTC21などが共催。塚原幹事長がTC21活動を紹介、ネトラ委員らがネパールの事例を紹介。
2017/9	第7回国際洪水マネジメント会議	リーズ(英国)	ポスターセッションにて、石渡委員がフィリピンオルモックの事例とともにTDAを紹介。
2017/9	土木学会全国大会研究討論会	福岡	ACECC TC21国内支援委員会が主催、TC21活動と国内を中心とした事例をTDAの観点から紹介。

■TC21の今後の主な活動予定

開催年月	活動名称	開催場所	内容
2017/11	世界防災フォーラム	仙台	TC21テクニカルセッションを開催、TDAの実践例を紹介し、災害の根本原因への取組みを議論。
2018/4	第3回 TC21国際シンポジウム	ハノイ(ベトナム)	ACECC理事会開催に合わせて現地調査を実施するとともにシンポジウムを開催。
2019/4	CECAR8	東京	TC21のセッションを開催。

TC21は2016年11月にフィリピンで(写真2)、2017年4月にはネパールにおいて現地調査(写真3)とシンポジウムを開催、ACECC TC21国内支援委員会は2017年9月に土木学会全国大会で研究討論会(写真4)を開催するなど減災・防災の意思決定に携わる政府関係者、科学的知見を提供する学術関係者、事業を実施する民間企業やNGO、一般市民との意見交換や、事例の収集と分析を進めている。

TC21活動の大きな節目として、2019

年4月に東京で開催される、ACECCの3年ごとの大会であるアジア土木技術国際会議(CECAR8: 8th Civil Engineering Conference in the Asian Region)では、TC21のセッションを開催、活動成果の発表とパネルディスカッションを予定している。TC21活動の成果を含む各種情報は、以下のACECC TC21およびACECC TC21国内支援委員会サイトに公開している。

ACECC TC21サイト(英文): <http://www.acecc-world.org/TC21/>



写真2 フィリピンオルモック市副市長との面談



写真3 2015年ネパール地震被災地区の現地調査

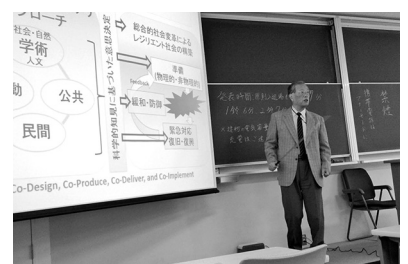


写真4 研究討論会で講演する竹内委員長

TC21国内支援委員会の委員兼幹事の公募

acecc02/

ACECC TC21国内支援委員会サイト(和文): <http://committeesjsce.or.jp/acecc02/>

TC21は米国、台湾、インドネシア、バンラデシユ、パキスタン、日本、韓国、ネパール、フィリピン、ベトナムの10か国・地域からの30名以上のメンバーで構成されており、日本からは国土交通省、JICA、大学、コンサルタント企業などから参加している。国内外の防災に関する取組みを代表する委員と、同じ土俵での議論を通じて技術力の向上を図ることができること、国内外の知見を得ることができること、そして何よりもアジア共通の課題である災害に強い社会づくりに貢献できることがTC21活

動の醍醐味である。

ACECC TC21国内支援委員会では、委員兼幹事を随時公募、TC21活動に貢献しようという意欲を持つ方の参加を歓迎している。詳しくは、以下の公募サイトを参照いたす: <http://committeesjsce.or.jp/acecc02/node/7>

学術交流基金および公益増進事業の支援

2016年11月のフィリピン、2017年4月のネパールにおけるTC21のシンポジウムと現地調査は、公益信託土木学会学術交流基金の助成により実施された。また、ACECC TC21国内支援委員会は、公益増進事業の助成により活動を行っている。これらの支援はTC21活動推進に不可欠なものであり、関係諸氏の多大な支援、ご指導に謝意を表す。